

令和元年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第5分科会

特定非営利活動法人富士と湖とかかしの里

理事長 八須一陽

子どものために地域ができること

～子ども食堂と学習支援を通して～

「ニコニコかかし食堂」立ち上げの経緯

高齢者が国のお荷物のように言われだし（マスコミがあからさまに言っているわけではないのですが）、お店に行けば特典カードをたった一枚つくるにもご家族と相談してくださいとパンフレットだけを渡され、高齢者である私には何も決定する権利がなくなってしまったように感じました。一体いつの間に世間から置き去りにされる様になったのでしょうか。これでは、高齢者は個人では何も出来ず、弱い存在のまままで終わってしまう。70年間一生懸命生きてきたことは何だったのでしょうか。高齢者がもつ特技を活かして、世の中に少しでもお役に立つことができないものかと真剣に考えだしたのです。

高齢者一人一人は社会的弱者かもしれませんが、お互いに助け合っていけば若い人の迷惑になることもなく、むしろ役に立つ存在になり、そして、お互いに他人のために役に立っていると思えることで生きがいを感じて、余生を楽しく暮らすことが出来るはずではないのだろうかと考えました。この様な思いから、みんなで作業をして食事ができる場所をつくりました。高齢者のつながりと生きがいづくりを目的に「NPO法人 富士と湖とかかしの里」（以下 かかしの里）を2014年3月に設立したのです。食事ができる場所まで考えたのは、高齢者がたった一人で食事をするのがどんなに淋しいことか身にしみているからです。



「ニコニコかかし食堂」を作ろうと思ったのは2017年の7月のことでした。いつもの様に「かかしの里」の事務所で、皆で和気あいあいと食事の用意をしていると、事務所の外から子ども達の声が聞こえました。夏休みなので事務所前のスペースで子ども達数名が遊んでいたのです。そこで、私達は子ども達に

向かって、「もうすぐお昼だよ。君たち、お昼ごはんを食べに帰らないの?」と声をかけてみたのです。ところが、驚くような返事が返ってきたのです。「お昼ごはんなんかないよ」でした。私達は顔を見合わせました。近頃マスコミで話題になっている「食事の問題がある子ども」かもしれないと思ったのです。この富士河口湖町のような田舎にも、そのような子ども達がいるのであれば、寒さ厳しいこの地域が冬に向かう前に何とかしないと私達は考え、矢も盾もたまらず私達はいわゆる「子ども食堂」を運営するために動き出しました。

私達の小さな事務所で「子ども食堂」を運営するには事務所を改装しなければなりません。そこで、冬までに開始することを考えて、改装計画や保健所への営業許可申請計画を急いで進めました。そして、改装のためにかかる費用は約50万円と高齢者の集団にとって高い金額でしたが、うれしいことに地域の皆様のご厚意とご協力によりわずか1週間程で確保することができました。これは、地域には求められればその求めに応じるといふ善意の心が沢山あることの表れであると感じています。2017年12月、多くの人々の協力により、「子ども食堂」を冬休みに間に合わせて開店することが出来ました。



「ニコニコかかし食堂」をはじめから

「子ども食堂」は、月2回を目安に、土曜日か日曜日の昼に開催するという事でスタートしました。ただし、貧困家庭に繋がるおそれがある「子ども食堂」という名称は用いないで、「ニコニコかかし食堂」という名称で行いました。

スタートしてからは、富士河口湖町役場、富士河口湖町社会福祉協議会、富士河口湖町商工会、ケーブルテレビ河口湖、粟井英朗環境財団などの皆様に協賛者や後援者として名を連ねていただき、「ニコニコかかし食堂」の運営に関して大変なご協力をいただきました。

地域への広報については、富士河口湖町の広報誌、ケーブルテレビ河口湖のお知らせコーナーなどへ掲載していただきました。また、近隣の船津小学校では、3ヶ月に1度、「ニコニコかかし食堂」のチラシを全校児童の皆さんに配布していただいています。

食堂のメニューは子ども達が好きなものを中心としながらも、私達が日頃食べている昔ながらのお惣菜を添えています。例えば、とんかつ定食にひじきの煮物などを添えています。時には鹿肉を用いた特製のカレーを出すこともあります。そして、料金については、子供 100 円、大人 300 円に設定しています。

いらっしやい
どなたでも
おまちして
おります。



おいさな
おこさまも
まってるよ。

ニコニコ
かかし食堂

- ばしよ かかしの家
- じかん 11時~2時
- 日にち 10月13日(日)
メニュー コロック定食
- 日にち 10月26日(土)
メニュー シチュー
- 日にち 11月10日(日)
メニュー フライ定食
- 日にち 11月30日(土)
メニュー ハンバーグ定食
- 日にち 12月8日(日)
メニュー けんちん汁定食
- 日にち 12月21日(土)
メニュー からあげ定食
- 料金 小ども 100円 おとな 300円
- ※アレルギー対策は行っておりません。

ニコニコ
かかし教室

- ばしよ ウエルシア河口湖船津店 (ウエルカフェ)
- じかん 12時~3時
- 無料
- 大学生と宿題しよう!!
地域の大学生やおとなが、わからないところを教えてくださいよ!
宿題じゃなくても、いつもの勉強でわからないところも教えてくださいよ!
小さなおこさまも楽しめる おりがみやゆりえもあるよ。
大学生のお姉さん、お兄さんが まってるよー! (お菓子里もあるよ。)
- かかし食堂と同じ日にやるよ!

し
ら
っ
し
や
い
ま
せ

連絡先 NPO 法人富士と湖とかかしの里
〒401-0901 山梨県南都賀郡富士河口湖町船津 3400
でんわ/ファックス 0656-72-2989
E-mail npokakashi@gmail.com

協賛 数多くの個人・企業・団体
富士河口湖町社会福祉協議会
富士河口湖町役場
栗井実相環境財団
CATV 河口湖
河口湖商工会



ファミリーマート
ウエルシア
河口湖船津店 (ウエルカフェ)
かかしの家 (かかし食堂)
かかし教室
河口湖商工会
河口湖町役場
旧船津検校所
駐車場
ベル



食堂をスタートしてから半年後の 2018 年 6 月に、食堂の運営にご協力いただいている地域の皆さんへのご報告と感謝の意を込めて、「ニコニコかかし食堂 報告会」を町の中央公民館で開催しました。富士河口湖町議員の方々をはじめ、150 名を超えるみなさまにお集まりいただきました。ともすれば社会的弱者になってしまう私達高齢者による法人団体の取り組みが、富士河口湖町の多くの皆様に認知していただけるまでに至りました。これは、地域の皆さんが抱いているさまざまな「子ども問題」に対する意識と、私達が行動を起こすきっかけとなった意識が共有化されたという事なのだと感じました。心に暖かな火がポツと灯りました。

報告会を終えてから私達は新たな活動を始めることになりました。「ニコニコかかし食堂」に来てくれた子ども達の学習支援を行うことにしたのです。ただ、食堂と同じ場所で行うことは空間的に難しいため、私達の事務所近くにあるウエルシア河口湖船津店の休憩スペース(ウエルカフェ)を貸していただくことになりました。そして、この学習支援活動の名称を「ニコニコかかし教室」として、同じ富士河口湖町にある健康科学大学、そして富士吉田市にある昭和大学の学生さんたちに学習支援ボランティアとして来ていただきました。その後、富士吉田市立看護専門学校の学生さんも加わっていただき、現在は各校の当番制で学習支援をしていただく形になっています。これも、各校の先生方のお力添えの賜物です。なお、この「ニコニコかかし教室」と「ニコニコかかし食堂」は同日開催で実施しています。



「ニコニコかかし食堂」に来ていただいた方の内訳ですが、1回あたり小中高生の子どもが平均20名で、大人が平均20名の合計40名程度で、「ニコニコかかし教室」は、1回あたりの人数は、学習支援ボランティアが3名、子どもが5名、サポートの大人が3名の合計11名程度となっています。

「ニコニコかかし食堂」の食材費は毎回1万円程度になります。参加者からいただく食事代だけではまかないきれない

ため毎回赤字になるのですが、「かかしの里」の会員による手づくりの小物を、地域の観光施設で販売していただいた売り上げなどを食堂の不足分に補填しています。

子どものために地域ができること

「子ども達のために何かの活動をしてみたい」と思っておられる皆さま、失敗を恐れずにまずは一步を踏み出してください。子ども達の健全育成の環境づくりは、地域の人々が共に行動することなしにつくり上げることは出来ないと、これまでの取り組みから私たちは強く感じています。

地域の人々が一緒に楽しんで食事をする。学生さんと一緒に勉強や遊びができる。このような機会のいづれひとつをとっても、多くの人々のご協力がなければ形にすることはできませんでした。これは、裏を返せば、地域に子ども達の為に何かしようとする意思さえあれば、必ず何か形に出来ることの一つの証明ではないでしょうか。地域の皆様には心から感謝いたしております。

ひとりの小さな心の平和がいくつも重なり合うことで地域の平和となり、そしてそれは次第に膨らみ国、そして地球の平和へとつながっていくのではないのでしょうか。

地域の年寄りとして、未来を担う子ども達のお役に立てることは、無償のよろこびです。

「ニコニコかかし食堂」には、いろいろな世代の方が来ていただいていますので、食事中は多世代間のコミュニケーションがはかれる場所になっています。しかし、子ども達は食事後に「ニコニコかかし教室」へと移動するために、子どもの声を私達大人が聞くことができにくくなっているのです。そのため、今、私達が求めているものは、「ニコニコかかし食堂」と「ニコニコかかし教室」を一緒に開催できる建物の確保です。難しいかもしれませんが、私達はあきらめなくて探し続けています。もっと子ども達の為に出来ることがある。年寄りが抱く「未来への希望」です。